

平成27年度

事業報告

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

平成27年度事業報告

I 公益目的事業1 (研究助成事業)

研究機関等に所属する研究者が行う研究開発を支援・促進することによって、技術立国日本の発展に関する科学技術に寄与するため、その研究開発等に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考した。

1 平成27年度研究開発助成金の交付

平成26年度研究助成選考委員会で審査選考し、平成26年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成テーマの研究開発に必要な経費を助成した。

ア 名称	平成27年度研究開発助成金
イ 助成金総額	1,100万円
ウ 助成テーマ	11テーマ (一覧表は、下記のとおり：応募64テーマ)
エ 研究期間	平成27年4月から平成28年3月まで 1年間
オ 研究成果	別添「研究助成成果報告書」のとおり

平成27年度研究開発助成テーマ等一覧表

No.	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所属	役職等	氏名	
1	高機能レアアース磁石の再資源化技術の開発	京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻	助教 エネルギー博士	安田 幸司	100
2	空気中の酸素を再酸化剤として用いた触媒的含酸素多環芳香族化合物合成法の開発	奈良工業高等専門学校物質化学工学科	准教授 工学博士	亀井 稔之	100
3	ハロゲン化物イオンの吸着分離を指向したナノポーラス炭素材料の開発	岡山大学大学院自然科学研究科地球生命物質科学専攻	准教授 理学博士	大久保貴広	100
4	新規有機無機ペロブスカイト半導体の発光素子応用に向けた研究	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科電子システム工学部門	助教 工学博士	西中 浩之	100
5	液体Siダイレクトインプリンティングの研究	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科	助教 工学博士	増田 貴史	100
6	有機系太陽電池の単一活性層化を目指した新規な含フッ素ドナー・アクセプター型有機半導体材料の創製および評価	立命館大学生命科学部応用化学科	特任助教 工学博士	山田 重之	100

7	積層型多孔性配位錯体の粒径・形状制御を通じたゲート型吸着特性の制御	京都大学大学院工学研究科化学工学専攻	助教 工学博士	渡邊 哲	100
8	基板上でのボトムアップ式グラフェンナノリボン合成と物性評価	奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科有機光分子科学研究室	特任助教 工学博士	林 宏暢	100
9	超分子ホストの精密集積化による新規多孔性材料の開発	金沢大学理工研究域物質化学系	助教 理学博士	酒田 陽子	100
10	赤色発光するEu添加Ga _N の共添加による局所構造制御と励起機構の解明	大阪大学大学院工学研究科附属高度人材育成センター	助教 工学博士	小泉 淳	100
11	単結晶ホイスラー合金薄膜の積層構造形成と巨大磁気抵抗素子への応用	大阪大学大学院基礎工学研究科	助教 工学博士	山田 晋也	100

2 平成28年度研究開発助成の研究テーマの募集と選考

40歳未満の大学教員等が実施する研究開発を支援するため、平成28年度に助成する研究開発助成テーマを募集し、研究助成選考委員会を開催して選考のうえ、理事会（平成28年3月22日開催）の承認を得て助成テーマを決定した。

ア 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある国公立大学等の理工学部系に在籍する40歳未満の若手研究者

イ 研究分野 新素材の開発及び機能に関する基礎的並びに応用的な研究

ウ 募集期間 平成27年11月1日から平成28年1月20日まで

エ 応募テーマ数 64テーマ

オ 助成テーマ数 12テーマ

カ 研究助成選考委員会の開催状況

開催年月日	場所	主な議題
第1回 平成28年2月3日 ～2月15日	(書面審査)	平成28年度研究開発助成テーマの選考について(第1次審査)
第2回 平成28年2月17日	センター 会議室	平成28年度研究開発助成テーマの選考について(第2次審査)

II 公益目的事業2（人材育成事業）

技術立国日本の発展に寄与するため、科学技術の振興とそれを担う人づくりに関する事業を行った。

1 技術セミナー

新素材の開発、従来材の新しい性能発現プロセスから、最終使用目的に合致した材料プロセス等の動向や可能性について理解を深めるとともに、新技術の開発や生産技術及

び加工技術の向上を図ることを目的として、技術セミナーを開催した。

ア 名称 平成27年度ものづくり基盤技術セミナー

イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター

ウ 内容

	開催日・テーマ等
第1回	日時 平成27年7月27(月) 13:30~16:30 場所 京都府産業支援センター 5階 研修室 テーマ 「機能性有機薄膜の分析・評価・デバイス応用」 講師 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 特任教授 中村 雅一氏 参加者 22名
第2回	日時 平成27年9月29(火) 13:30~16:30 場所 京都府産業支援センター 5階 研修室 テーマ 「プラスチックは壊れてしまう~プラスチック・ゴム材料の劣化に関する基礎~」 講師 国立大学法人京都工芸繊維大学材料化学系 准教授 坂井 互氏 参加者 26名
第3回	日時 平成27年10月21(水) 15:00~17:15 場所 京都府産業支援センター 5階 研修室 テーマ 「シンプルでスマートなマイクロマシンのバイオメディカル応用」 講師 立命館大学 理工学部機械工学科 教授 小西 聡氏 参加者 21名
第4回	日時 平成27年11月25(水) 13:30~16:45 場所 京都府産業支援センター 5階 研修室 テーマ 「異種材料接合の現状と今後の展望」 講師 大阪大学 接合科学研究所 特任教授(大阪大学 名誉教授 中田 一博氏 参加者 31名

2 技術研究会

(1) CAE技術研究会

設計・製造分野においてCAE (Computer Aided Engineering) が普及してきたが、CAEを「ものづくり」の中で適切に活用するためには、まだまだ乗り越えなければならない課題がある。

そのため、CAEの概説から実習、事例研究を通じて、生産プロセス開発に必要なデータの収集及び解析など基礎的な学習を行い、設計者が日常の仕事に活用できる技術を修得するためのCAE技術研究会を開催した。

ア 名称 CAE技術研究会

イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター

ウ 場所 京都府産業支援センター

エ 参加者 関連企業の研究者・技術者（8名）
 オ 講師 田村技術士事務所・京都府特別技術指導員 田村隆徳 氏
 株式会社島津製作所 CS統括部 笠井貴之 氏
 カ 内 容

例 会	開 催 日	内 容
平成27年 4月度	4月24日（金）	ADINAの基本的な操作の習得 CAEの総論と線形構造解析の座学
5月度	5月 8日（金）	複雑な形状の線形解析の習得 材料力学の習得
6月度	5月22日（金） 6月12日（金）	線形構造解析の実習 非線形構造解析の習得
7月度	6月26日（金） 7月10日（金）	CAEの非線形解析実習 熱の定常及び非定常解析の習得
8月度	7月24日（金） 8月 7日（金）	CAEの熱モデル解析実習 熱応力解析の習得
9月度	8月21日（金） 9月11日（金）	CAEの熱応力モデル解析実習 振動解析の習得
10月度	9月25日（金） 10月16日（金）	事例研究の準備 事例研究
11月度	11月 6日（金）	事例研究
12月度	12月11日（金）	事例研究
平成28年		
1月度	1月15日（金）	事例研究
2月度	2月12日（金）	事例研究
3月度	3月11日（金）	成果発表会

※開催時間は、いずれも午前10時から午後5時

(2) DLC製膜技術研究会

環境問題やエネルギー問題がクローズアップされるなか、高硬度、低摩擦係数、耐食性など機械的特性に優れたDLC（Diamond-Like Carbon）膜が低環境負荷技術として注目され、自動車部品や産業機器部品、金型等に適用されており今後さらに用途が拡大していくことが予測される。

このため、実際の製品などへの製膜実験を実施し、耐久性や性能を評価するとともに、参加企業の抱える課題解決やDLC皮膜の新規用途展開の可能を検討するためのDLC製膜技術研究会を開催した。

ア 名 称 DLC製膜技術研究会
 イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 ウ 場 所 京都府産業支援センター
 エ 講 師 京都工芸繊維大学大学院機械システム工学部門 助教 中村守正 氏

	開催日・テーマ等
オープン セミナー	<p>日時 平成27年8月26日(水) 13:30～16:30</p> <p>場所 京都府中小企業技術センター 5F 研修室</p> <p>参加者 24名</p> <p>内容</p> <p>【講演1】「環境負荷低減に貢献するトライボロジーと表面処理技術」 日新電機株式会社研究開発本部 主幹 中東 孝浩 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境汚染や地球温暖化から環境負荷物質の削減やCO2排出量の低減が進められているなか、無潤滑摺動、無潤滑切削、脱6価クロムをキーワードとした環境負荷低減に貢献するトライボロジー・表面処理技術と、環境に優しいDLC膜コーティングの現状と今後の動向について報告いただいた。 <p>【講演2】「セラミックスコーティングとレーザー熱処理を複合化した新表面改質処理」 滋賀県立大学工学部機械システム工学科准教授 田邊 裕貴 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡便かつ効果的にセラミックス被覆鋼の各種機械的特性の向上が図れる新手法として、従来の「基材熱処理」→「成膜処理」の工程を逆転させた「成膜後基材熱処理」、およびその熱処理にレーザー熱処理を採用した「成膜後レーザー熱処理」の研究開発について、手法の開発の背景、方法、効果等について紹介いただいた。
例 会	<p>日時 平成27年11月18日(水) 午前9時から午後5時</p> <p>場所 京都府中小企業技術センター表面加工技術開発室</p> <p>内容 機械部品への成膜実験</p>
	<p>日時 平成27年11月20日(金) 午前9時から午後5時</p> <p>場所 京都府中小企業技術センター表面加工技術開発室</p> <p>内容 機械部品への成膜実験 樹脂材料へのサンプル製膜実験</p>
	<p>日時 平成28年1月14日(木) 午前10時から午後3時</p> <p>場所 京都府中小企業技術センター精密測定室</p> <p>内容 ナノインデンテーション試験機による硬さ評価</p>
	<p>日時 平成28年2月22日(月) 午前10時から午後4時</p> <p>場所 京都府中小企業技術センター 材料物性試験室ほか</p> <p>内容 ナノインデンテーション試験機による物性評価 スクラッチ試験による密着性評価</p>
	<p>日時 平成28年3月17日(木) 午前10時から午後0時</p> <p>場所 京都工芸繊維大学 中村助教</p> <p>内容 今年度の取り組みのまとめ報告。 今後の課題・進め方の打合せ</p>

(3) 京都品質工学研究会

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すことも重要であるが、その製品を低コストで製造上のトラブルも市場クレームも起こさせない安定した製品・設計・製造技術を開発することが大きな課題となっている。

品質工学は、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化する汎用性の高い技術論で、安定した設計・製造技術を効率よく開発する手法として広く活用されている。

このため、技術者が品質工学を学び、実践し、交流する場として、効率的な技術・製品開発を実現するための技術力を持つ人材の育成を目的として品質工学研究会を開催した。

ア 名 称 京都品質工学研究会
 イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 ウ 場 所 京都府産業支援センター
 エ 参加者 法人会員24、個人会員6

例会	日時	内 容
第1回	5月22日(金)	講演「品質工学の概要と考え方」及び事例研究 講師：ユニカミノルタ(株) 芝野 広志 氏
第2回	6月12日(金)	関西／滋賀県品質工学研究会 合同シンポジウム
基礎学習会	6月29日(月)	講演「機能性評価とパラメータ設計」及び実習 講師：京都府特別技術指導員 近本 武次 氏
第3回	7月10日(金)	講演「MTシステム概論」及び相談 講師：(有)アイテックインターナショナル中野恵司氏
第4回	9月11日(金)	講演「最近の品質工学研究事例」及び事例発表 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏
第5回	11月13日(金)	講演「設計品質リスクを未然にあぶり出す新手法"XCN(クロスチェック付きなぜなぜ分析)"」及び事例発表 講師：三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 鶴田明三 氏
第6回	12月18日(金)	講演「TAGUCHI METHODS 概論」及び事例発表 講師：(有)アイテックインターナショナル中野恵司 氏
第7回	2月12日(金)	講演「許容差設計」と事例発表及び事例発表 講師：(有)アイテックインターナショナル 中野恵司 氏
第8回	3月11日(金)	講師「経営戦略としての品質工学」及び事例発表 講師：TM実践塾 芝野 広志 氏

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業、科学技術の発展を担うベンチャー精神に富む起業家や、柔軟でユニークな発想をもつ研究者育成のため、大学の部及び高校の部に分けてテクノアイデアコンテストを開催し、専門家による審査・選考のうえ表彰し、副賞を授与するとともに、特別講演や特許出願等の相談を行った。

コンテスト終了後は、受賞者・参加者及び選考委員等による情報交換のための交流会を開催した。

(1) 主催等

ア 名 称 テクノ愛2015
 イ 主 催 テクノ愛実行委員会
 ウ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都大学産官学連携本部
 エ 後 援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
 NHK京都放送局、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
 オ 協 賛 国立研究開発法人科学技術振興機構、京都工芸繊維大学ベンチャー・

ラボラトリー、大阪大学産学連携本部、神戸大学連携創造本部、
大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム
京都大学生生活協同組合

カ 協 力
(2) 募集等

- ア 募集対象 大学の部・・・高等専門学校4・5年生、大学生、大学院生
高校の部・・・高校生、高等専門学校1～3年生
- イ 募集期間 平成27年6月5日～平成27年9月11日
- ウ 応募総数 高校の部 208件
大学の部 47件
合 計 255件

(3) コンテストの開催

書類選考により選ばれた大学の部、高校の部それぞれ9件についてのプレゼンテーションによる発表・審査と交流会を開催した。

- ア 日 時 平成27年11月23日(月・祝) 9:30～18:00
- イ 場 所 ①発表会：京都大学国際科学イノベーション棟
②交流会：京都大学正門横“カンフォーラ”
- ウ 入 賞 高校の部 9件
大学の部 9件
総合の部(高校・大学) 1件
入賞の内容は下記のとおり
- エ 特別講演 演 題：「気づきからアイデアへ、アイデアからビジネスへ」
講 師： 福井大学 産学官連携本部 准教授 竹本拓治 氏
- オ 特許相談 特許電子図書館による特許情報の検索方法や出願方法に係る相談
カ 来 聴 者 110名

テクノ愛2015入賞アイデア等一覧表

<高校の部>

賞 名	入賞アイデア	学 校 名	入賞者氏名
グランプリ	雪国向きLED信号機	青森県立名久井農業高等学校	井戸上真衣 福田 将太 小向美沙紀 川村 健勝
準グランプリ	ガーベラのイリュージョン栽培	青森県立名久井農業高等学校	小向美沙紀 中山 恭輔 井戸上真衣 川村 健勝 澤口 佳保 玉川 七海 中村 唯子
優 秀 賞	ランプシェードロボット『ヤドカリ君』	京都市立洛陽工業高等学校(機械工作部)	西村 和也 山下 将吾 古谷 聡 山岸 晃 堀口 嵩人 林雄 壱朗 松中 誉生

奨励賞	オオミジンコを用いた管理が容易な水質監視装置	山口県立山口高等学校	濱田尚輝 松本久也 原田 要
	反射光を用いた、銀鏡反応測定装置	仁川学院高等学校	松井 裕介
	テーブル設置型紙ナプキン	愛知県立豊橋工業高等学校	菰田 泰治 大村 拓巳
	地球を守る「AOHチップ」の考案・開発	静岡県立富岳館高等学校(キノコ研究班)	飯島 大 刈谷 美咲 大石 純輝 堀口 朋香 深澤 志統 杉山絵里香 大石 大輝 成島 和奈 酒井 唯奈 児玉 正吾 伊東 俊輔
	ロボットハンド操作用スマホアプリの開発	京都市立洛陽工業高等学校	松中 誉生
	自動施錠防犯ロック	愛知県立豊橋工業高等学校	今泉 拓海 今原 順一 鈴木 崇弘

<大学の部>

賞名	入賞アイデア	学校名	入賞者氏名
グランプリ	食品廃棄物のリサイクルによって食品ロスを減らす!	国立米子工業高等専門学校	小西 那奈 田中 美樹 田原早央莉 森田菜未来
準グランプリ	電流を可視化する磁気イメージングシステム	神戸大学大学院	美馬 勇輝
優秀賞	迷子防止しっぽ	京都工芸繊維大学大学院	村田 直樹 草野真友香 田中 巖貴 中川 叶子 野々村由衣
奨励賞	ジグソーベッド	大阪大学	箕輪 格 山崎 友裕
	e-まど	滋賀職業能力開発短期大学校	野崎 智裕 浦崎香菜子
	Tシャツたたむんガー	文化学園大学	浅沼 知永 天願南々海 大矢部忠尚 堀尾 輝

	恋愛応援ツール happin	京都工芸繊維大学大学院	川端久美子 石崎 眞 内田 嵩 大久保諒子 永野 公斎
	ぴったんこ消しゴム	神戸大学大学院	西田 雄貴 東千 誠 永口 侑香
	こころ+ (こころぷらす)	京都工芸繊維大学大学院	雑賀 隆介 吉田 健人 辻勇 一郎 給田 智子 盧春 暁

<テクノ愛賞>

アイデア	学校名	入賞者氏名
Tシャツたたむんガー	文化学園大学	浅沼 知永 天願南々海 大矢部忠尚 堀尾 輝

(4) 委員会開催状況

ア テクノ愛実行委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成27年6月10日	(書面会議)	1 平成27年度テクノアイデアコンテストの応募等について 2 審査・選考方法について
第2回 平成27年11月23日	京都大学	1 コンテスト、表彰、交流会について 2 次年度計画について
第3回 平成28年2月2日	京都大学	1 テクノ愛創設20周年事業計画について

イ テクノ愛選考委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成27年9月16日 ～30日	(書面審査)	1 平成27年度応募アイデアの選考について(第1次審査) 2 特許調査について
第2回 平成27年10月5日 ～16日		
第3回 平成27年11月23日	京都大学	1 平成27年度テクノアイデアコンテストの審査について(第2次審査)

4 科学館・技術館訪問研修

21世紀をより豊かで夢のある社会にするためには、科学技術の進展が不可欠であり、創造性豊かな若者を育てることが求められています。そのためには青少年のときから科学技術の楽しさ、おもしろさなどを体験し、学ぶことが極めて重要です。

そこで、京都・御室という伝統と技術が深く浸透した土地柄とみごとに融合した社名をもち、ベンチャー精神と、新しい時代に向けて果敢にチャレンジを続け、私たちの身近な製品から産業機器に使用される大型制御機器などを世に送り出しているオムロン株式会社とオムロン京都太陽株式会社を訪問し、生徒と先生方が一緒に学ぶ研修会を開催した。

- (1) 名称 科学館・技術館訪問研修
- (2) 日時 平成27年8月3日(金) 13:15～16:30
- (3) 場所 オムロンコミュニケーションプラザ(京都市下京区塩小路通堀川東入)
オムロン京都太陽株式会社(京都市南区上鳥羽塔ノ森上河原87)
- (4) 参加者 高校生及び教諭 45名
- (5) 主催 公益財団法人京都技術科学センター
- (6) 後援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
- (7) 内容

ア オムロン株式会社オムロンコミュニケーションプラザ

- ・ 歴史フロアでは、「オムロンの理念」「オムロンの歴史」「オムロンの描くビジョン」の順に説明・解説を聞き、創業から現在に至るソーシャルニーズ創造の軌跡と未来に繋がるビジョンなどについて学んだ。
- ・ 技術フロアでは、オムロンの事業・技術を「社会」「生活」「産業」の3つの分野について、それぞれ説明を聞くとともに体験をした。

イ オムロン京都太陽株式会社

- ・ 会社のあゆみ、製品紹介、そして障がいを持たれた方々が生産に携わっているため、能力を発揮できるよう身体的機能を補う補助具・治具を整備し、高品質・高生産性・少在庫を目指して、日々業務に取り組んでおられる状況などについて、ビデオを交えた説明を受けた。
- ・ 工場見学では、障がいの程度に応じた訓練の状況、障がい者用音声付体温計の製造工程、はんだづけ製造工程、血圧計製造工程などをつぶさに見学した。

5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて、学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、冬休み・春休みを利用しての実験教室を開催した。

- (1) 主催等
 - ア 主催 公益財団法人京都技術科学センター
 - イ 後援 京都府教育委員会
京都市教育委員会
 - ウ 協力 サイエンスEネット

(2) 開催状況

第1回

- ア 名称 クリスマスの実験教室
- イ 日時 平成27年12月20日(日) 13:00～15:30
- ウ 場所 公益財団法人京都技術科学センター ホール
- エ 参加者 小学生39人(親子33組)
- オ プログラム

① クリップモーターカーの原理の解説

講師の東京理科大学教授の川村康文先生からクイズ形式により、モーターの原理な

どをやさしく・楽しく解説していただいた。

② クリップモーターカーの工作

工作材料を確認のうえ、3Dプリンターでプラスチック成形された車体に、クリップ、電池、磁石、車輪をセットし、モーターのコイルを組み付けてクリップモーターカーを完成させ、走らせた。

第 2 回

ア 名 称 春の実験教室

イ 日 時 平成28年3月20日（日・祝）13:00～15:30

ウ 場 所 公益財団法人京都技術科学センター ホール

エ 参加者 小学生41名（親子33組）

オ プログラム

① 発電の種類と原理の解説

講師の東京理科大学の川村康文教授から、水力、太陽光、地熱、などの自然のエネルギーを使った発電の種類解説後、今回工作するサボニウス型風車風力発電機について、やさしく・楽しく解説していただいた。

② サボニウス型風車風力発電機の工作

小学生の工作実験としてのサボニウス型風車風力発電機の羽は、今まで金属板などを使用していたが工作するときに、低学年では、手を切るなどの安全面での問題があった。

そこで、今回の実験教室では、3Dプリンターを活用したプラスチックの安全性の高い羽を用いた風力発電機を工作した。

6 科学技術情報等提供

ホームページを活用し、センターが実施するセミナーや研究会等のイベント情報を提供することによって、利用者やイベント参加者の拡大を図った。

また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテスト入賞アイデア、おもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

その他、当センターの沿革・概要及び事業計画・事業実施報告並びに収支予算・決算状況等をホームページに掲載した。 *HPアドレス：<http://www.khc.or.jp>

III 収益事業

公益目的事業が、より効果的、かつ、安定的に推進できるよう、本法人が所有する建物・土地を原資として、研究室、事務室、駐車場として賃貸するとともに、会議室、ホールを貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

1 研究施設等の貸与（(1)、(4)及び(5)は、平成28年3月31日現在）

(1) 研究室・事務室の利用団体数	31団体	(平成26年度	28団体)
(2) 会議室等利用件数	154件	(同	63件)
(3) 工作機械使用時間数	0時間	(同	9時間)
(4) 駐車場活用台数	35台	(同	35台)
(5) 収納庫活用室数	21室	(同	21室)

2 建物・付属設備等の管理

主な修繕・改修工事として、次の工事を行った。

- (1) 本館1階事務室配電盤等増設工事
- (2) 本館地階事務室エアコン更新
- (3) 本館地階高圧受電設備更新
- (4) 本館地階マルチエアコン室外機修繕
- (5) その他小規模修繕

IV センターの運営

1 センターの概要（平成28年3月31日現在）

設 立	昭和17年12月28日（財団法人京都技術科学館として設立） 昭和35年12月27日（財団法人近畿地方発明センターに名称変更） 平成24年4月1日（公益財団法人京都技術科学センターに名称変更）
評 議 員	14名
役 員	16名（理事14名 監事2名）
委 員	研究助成選考委員会委員 6名 研究助成委員会委員 4名 建物等管理委員会委員 6名 テクノ愛実行委員会委員 6名 同 選考委員会委員 13名

2 理事会の開催状況

開 催	場 所	主 な 議 題
平成27年度 第1回定時理事会 平成27年5月28日	センター 会議室	I 決議事項 1 平成26年度事業報告の件 2 平成26年度決算の件 3 平成27年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告について 2 研究開発助成に係るアンケート結果について 3 建物賃貸借契約者の異動状況について
平成27年度 第1回臨時理事会 平成27年7月31日	センター 会議室	I 決議事項 1 研究開発助成分野等について II 報告事項 1 建物賃貸借契約の状況について
平成27年度 第2回定時理事会 平成28年3月22日	センター 会議室	I 決議事項 1 平成29年度研究開発助成分野等の承認の件 2 平成28年度事業計画書の承認の件 3 平成28年度収支予算書等の承認の件 4 平成28年度研究開発助成金交付対象者等の決定の件 5 事務局長再任の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告について 2 内閣府立入検査結果について 3 建物賃貸借契約者の異動状況について

3 評議員会の開催状況

開催	場所	主な議題
平成27年度 定時評議員会 平成27年6月15日	センター 会議室	I 決議事項 1 評議員選任の件 2 役員選任の件 3 平成26年度事業報告の件 4 平成26年度決算承認の件 II 報告事項 1 研究開発助成規程について 2 建物賃貸借契約の状況について

4 監事監査

開催	場所	内容
平成27年5月19日	センター 会議室	平成26年度事業報告及び決算の監査

5 内閣府立入検査

平成28年3月2日、内閣府から公益財団法人として初めての立入検査を受けた。
特段問題はなかった。

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する平成27年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	14,683,668	11,283,265	3,400,403
未収金	3,255,821	3,281,850	△ 26,029
仮払金	0	0	0
流動資産合計	17,939,489	14,565,115	3,374,374
2 固定資産			
(1) 基本財産			
建物（本館及び分館）	70,381,202	74,018,021	△ 3,636,819
土地	12,600,000	12,600,000	0
土地共有権	137,515,000	137,515,000	0
基本財産合計	220,496,202	224,133,021	△ 3,636,819
(2) 特定資産			
基本預金	95,000,000	95,000,000	0
役員退職慰労引当資産	3,204,616	2,828,616	376,000
減価償却引当資産	126,360,000	120,527,000	5,833,000
事業安定積立資産	5,000,000	5,000,000	0
納税積立資産	2,300,000	2,300,000	0
建物維持積立資産	21,000,000	21,000,000	0
受入保証金引当資産	32,198,000	29,797,000	2,401,000
特定資産合計	285,062,616	276,452,616	8,610,000
(3) その他固定資産			
建物（倉庫）	1	1	0
建物付属設備	14,166,473	12,226,381	1,940,092
構築物	186,189	200,855	△ 14,666
工作機械・機器	6	6	0
什器備品	33	1,433	△ 1,400
ソフトウェア	70,686	106,029	△ 35,343
差入保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	14,473,388	12,584,705	1,888,683
固定資産合計	520,032,206	513,170,342	6,861,864
資産合計	537,971,695	527,735,457	10,236,238
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	578,400	0	578,400
未払費用	152,213	178,521	△ 26,308
前受金	1,121,862	426,164	695,698
預り金	325,815	354,473	△ 28,658
賞与引当金	363,000	363,000	0
未払法人税等	2,313,000	341,700	1,971,300
未払消費税	1,929,900	2,861,600	△ 931,700
流動負債合計	6,784,190	4,525,458	2,258,732
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	3,204,616	2,828,616	376,000
受入保証金	32,198,000	29,797,000	2,401,000
固定負債合計	35,402,616	32,625,616	2,777,000
負債合計	42,186,806	37,151,074	5,035,732
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	20,000	20,000	0
指定正味財産合計	20,000	20,000	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(20,000)	(20,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	495,764,889	490,564,383	5,200,506
（うち基本財産への充当額）	(220,496,202)	(224,133,021)	(△ 3,636,819)
（うち特定資産への充当額）	(249,660,000)	(243,827,000)	(5,833,000)
正味財産合計	495,784,889	490,584,383	5,200,506
負債及び正味財産合計	537,971,695	527,735,457	10,236,238

貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	5,918,333	8,205,775	559,560		14,683,668
未 収 金	536,693	2,677,421	41,707		3,255,821
流動資産合計	6,455,026	10,883,196	601,267		17,939,489
2 固定資産					
(1) 基本財産					
建物（本館及び分館）	12,985,332	55,770,066	1,625,804		70,381,202
土 地	0	12,600,000	0		12,600,000
土地共有権	25,371,517	108,966,886	3,176,597		137,515,000
基本財産合計	38,356,849	177,336,952	4,802,401		220,496,202
(2) 特定資産					
基本預金	0	0	95,000,000		95,000,000
役員退職慰労引当資産	2,414,156	315,861	474,599		3,204,616
減価償却引当資産	24,935,300	98,302,500	3,122,200		126,360,000
事業安定積立資産	0	5,000,000	0		5,000,000
納税積立資産	0	2,300,000	0		2,300,000
建物維持積立資産	3,874,500	16,640,400	485,100		21,000,000
受入保証金引当資産	0	32,198,000	0		32,198,000
特定資産合計	31,223,956	154,756,761	99,081,899		285,062,616
(3) その他固定資産					
建物（倉庫）	0	1	0		1
建物付属設備	1,682,405	12,273,383	210,685		14,166,473
構築物	34,351	147,538	4,300		186,189
工作機械・機器	0	6	0		6
什器備品	5	24	4		33
ソフトウェア	42,863	22,762	5,061		70,686
差入保証金	9,225	39,620	1,155		50,000
その他固定資産合計	1,768,849	12,483,334	221,205		14,473,388
固定資産合計	71,349,654	344,577,047	104,105,505		520,032,206
資産合計	77,804,680	355,460,243	104,706,772		537,971,695
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	0	578,400	0		578,400
未払費用	19,000	133,213	0		152,213
前受金	0	1,121,862	0		1,121,862
預り金	106,124	219,691	0		325,815
賞与引当金	0	363,000	0		363,000
未払法人税等	0	2,313,000	0		2,313,000
未払消費税等	0	1,929,900	0		1,929,900
流動負債合計	125,124	6,659,066	0		6,784,190
2 固定負債					
役員退職慰労引当金	2,414,156	315,861	474,599		3,204,616
受入保証金	0	32,198,000	0		32,198,000
固定負債合計	2,414,156	32,513,861	474,599		35,402,616
負債合計	2,539,280	39,172,927	474,599		42,186,806
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
寄附金	0	0	20,000		20,000
指定正味財産合計	0	0	20,000		20,000
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)	()	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(20,000)	()	(20,000)
2 一般正味財産					
一般正味財産合計	75,265,400	316,287,316	104,212,173		495,764,889
（うち基本財産への充当額）	(38,356,849)	(177,336,952)	(4,802,401)	()	(220,496,202)
（うち特定資産への充当額）	(28,809,800)	(122,242,900)	(98,607,300)	()	(249,660,000)
正味財産合計	75,265,400	316,287,316	104,232,173		495,784,889
負債及び正味財産合計	77,804,680	355,460,243	104,706,772		537,971,695

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物(本館及び分館)	74,018,021		3,636,819	70,381,202
土地	12,600,000			12,600,000
土地共有権	137,515,000			137,515,000
小 計	224,133,021	0	3,636,819	220,496,202
特定資産				
基本預金	95,000,000			95,000,000
役員退職慰労引当資産	2,828,616	376,000		3,204,616
減価償却引当資産	120,527,000	5,833,000		126,360,000
事業安定積立資産	5,000,000			5,000,000
納税積立資産	2,300,000			2,300,000
建物維持積立資産	21,000,000	2,469,150	2,469,150	21,000,000
受入保証金引当資産	29,797,000	2,967,000	566,000	32,198,000
小 計	276,452,616	11,645,150	3,035,150	285,062,616
合 計	500,585,637	11,645,150	6,671,969	505,558,818

2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	363,000	363,000	363,000	0	363,000
役員退職慰労引当金	2,828,616	376,000	0	0	3,204,616
受入保証金	29,797,000	2,967,000	566,000	0	32,198,000

正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	62,330,940	57,641,743	4,689,197
施設使用料	53,045,693	48,910,070	4,135,623
収納庫使用料	1,808,879	1,743,120	65,759
駐車場使用料	7,476,368	6,988,553	487,815
② 特定資産運用益	611,678	579,403	32,275
特定資産受取利息	611,678	579,403	32,275
③ 事業収益	997,000	879,800	117,200
技術セミナー事業収益	95,000	118,000	△ 23,000
技術研究事業収益	902,000	761,800	140,200
④ 施設設備運用益	1,139,897	1,544,203	△ 404,306
施設使用料	22,523	809,076	△ 786,553
会議室等使用料	1,116,954	735,127	381,827
開放機器貸付料	420	0	420
⑤ 光熱水使用収益	6,795,874	5,997,351	798,523
電気使用料	6,752,649	5,954,271	798,378
水道等使用料	43,225	43,080	145
⑥ 雑収益	95,556	62,372	33,184
受取利息	4,461	4,971	△ 510
自動販売機商品売上手数料	75,435	54,001	21,434
雑収益	15,660	3,400	12,260
経常収益計	71,970,945	66,704,872	5,266,073
(2) 経常費用			
① 事業費	62,404,200	62,391,727	12,473
役員報酬	3,973,373	3,973,373	0
給料手当	7,362,982	7,199,610	163,372
臨時雇賃金	229,980	206,155	23,825
賞与引当金繰入額	363,000	325,000	38,000
役員退職慰労引当金繰入額	320,300	272,800	47,500
福利厚生費	1,092,625	1,414,241	△ 321,616
会議費	329,037	284,896	44,141
旅費交通費	337,390	354,240	△ 16,850
通信運搬費	629,288	619,579	9,709
減価償却費	5,711,212	6,499,800	△ 788,588
消耗什器備品費	0	66,808	△ 66,808
消耗品費	427,457	492,136	△ 64,679
賞品費	1,293,960	1,283,105	10,855
修繕費	575,450	603,959	△ 28,509
印刷製本費	331,668	310,608	21,060
電力費	8,624,383	8,055,559	568,824
光熱水料費	428,308	391,385	36,923
賃借料	956,429	944,950	11,479
保険料	246,596	246,420	176
諸謝金	3,211,437	3,176,600	34,837
租税公課	11,994,847	11,704,423	290,424
支払負担金	25,945	78,245	△ 52,300
助成金	11,000,000	11,000,000	0
渉外費	10,800	7,668	3,132
委託費	2,835,310	2,782,110	53,200
雑費	92,423	98,057	△ 5,634

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	2,631,639	3,120,176	△ 488,537
役員報酬	687,475	687,475	0
給料手当	676,152	888,210	△ 212,058
賞与引当金繰入額	0	38,000	△ 38,000
役員退職慰労引当金繰入額	55,700	47,200	8,500
福利厚生費	212,502	207,315	5,187
会議費	49,165	100,942	△ 51,777
旅費交通費	50,400	78,650	△ 28,250
通信運搬費	11,585	27,651	△ 16,066
減価償却費	122,224	142,226	△ 20,002
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	4,960	36,692	△ 31,732
修繕費	0	6,779	△ 6,779
印刷製本費	0	19,364	△ 19,364
電力費	146,006	132,562	13,444
光熱水料費	9,116	8,246	870
賃借料	97,758	95,429	2,329
保険料	3,954	3,954	0
諸謝金	287,967	399,000	△ 111,033
租税公課	139,653	138,377	1,276
負担金	7,325	1,155	6,170
渉外費	9,485	1,940	7,545
委託費	54,621	52,175	2,446
雑費	5,591	6,834	△ 1,243
經常費用計	65,035,839	65,511,903	△ 476,064
評価損益等調整前当期經常増減額	6,935,106	1,192,969	5,742,137
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	6,935,106	1,192,969	5,742,137
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
① 雑益	578,400	649,300	△ 70,900
雑益	578,400	649,300	△ 70,900
經常外収益計	578,400	649,300	△ 70,900
(2) 經常外費用			
① 經常外費用その他	0	2,168,766	△ 2,168,766
經常外費用その他	0	2,168,766	△ 2,168,766
經常外費用計	0	2,168,766	△ 2,168,766
当期經常外増減額	578,400	△ 1,519,466	2,097,866
他会計振替額	0	0	0
当期税引前一般正味財産増減額	7,513,506	△ 326,497	7,840,003
法人税、住民税及び事業税	2,313,000	341,700	1,971,300
当期一般正味財産増減額	5,200,506	△ 668,197	5,868,703
一般正味財産期首残高	490,564,383	491,232,580	△ 668,197
一般正味財産期末残高	495,764,889	490,564,383	5,200,506
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,000	20,000	0
指定正味財産期末残高	20,000	20,000	0
III 正味財産期末残高	495,784,889	490,584,383	5,200,506

正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計	法人会計	内部取引控除	合 計
	公1	公2	共通	計	収益事業			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	0	0	62,330,940	0	0	62,330,940
施設使用料					0	53,045,693	0	53,045,693
収納庫使用料					0	1,808,879	0	1,808,879
駐車場使用料					0	7,476,368	0	7,476,368
② 特定資産運用益	0	0	74,676	74,676	314,400	222,602	0	611,678
特定資産受取利息			74,676	74,676	314,400	222,602		611,678
③ 事業収益	0	997,000	0	997,000	0	0	0	997,000
技術セミナー事業収益		95,000		95,000	0	0		95,000
技術研究会事業収益		902,000		902,000	0	0		902,000
④ 施設設備運用益	0	0	0	0	1,139,897	0	0	1,139,897
施設使用料					0	22,523	0	22,523
会議室等使用料					0	1,116,954		1,116,954
開放機器貸付料					0	420	0	420
⑤ 光熱水使用収益	0	0	0	0	6,795,874	0	0	6,795,874
電気使用料					0	6,752,649		6,752,649
水道等使用料					0	43,225	0	43,225
⑥ 雑収益	0	0	748	748	94,709	99	0	95,556
受取利息			748	748	0	3,614	99	4,461
自動販売機商品売上手数料					0	75,435	0	75,435
雑収益					0	15,660	0	15,660
経常収益計	0	997,000	75,424	1,072,424	70,675,820	222,701	0	71,970,945
(2) 経常費用								
① 事業費	14,907,384	13,121,731	4,989,113	33,018,228	29,385,972		0	62,404,200
役員報酬	1,814,934	1,699,812		3,514,746	458,627			3,973,373
給料手当	891,677	4,917,320		5,808,997	1,553,985			7,362,982
臨時雇賃金		229,980		229,980	0			229,980
賞与引当金繰入額				0	363,000			363,000
役員退職慰労引当金繰入額	146,400	137,100		283,500	36,800			320,300
福利厚生費	172,000	558,060	46,675	776,735	315,890			1,092,625
会議費	21,600	307,437		329,037	0			329,037
旅費交通費	6,580	329,810	1,000	337,390	0			337,390
通信運搬費	58,571	431,231	73,411	563,213	66,075			629,288
減価償却費			976,853	976,853	4,734,359			5,711,212
消耗什器備品費				0	0			0
消耗品費	22,889	325,589	43,939	392,417	35,040			427,457
賞品費		1,293,960		1,293,960	0			1,293,960
修繕費				0	575,450			575,450
印刷製本費	153,576	178,092		331,668	0			331,668
電力費			1,166,148	1,166,148	7,458,235			8,624,383
光熱水料費			72,808	72,808	355,500			428,308
賃借料		251,920	622,246	874,166	82,263			956,429
保険料		21,600	31,577	53,177	193,419			246,596
諸謝金	610,000	2,150,404	391,514	3,151,918	59,519			3,211,437
租税公課			1,088,404	1,088,404	10,906,443			11,994,847
支払負担金		10,000	9,661	19,661	6,284			25,945
支払助成金	11,000,000			11,000,000	0			11,000,000
渉外費		10,800		10,800	0			10,800
委託費		252,240	442,146	694,386	2,140,924			2,835,310
雑費	9,157	16,376	22,731	48,264	44,159			92,423
② 管理費						2,631,639	0	2,631,639
役員報酬						687,475		687,475
給料手当						676,152		676,152
賞与引当金繰入額						0		0
役員退職慰労引当金繰入額						55,700		55,700
福利厚生費						212,502		212,502
会議費						49,165		49,165
旅費交通費						50,400		50,400
通信運搬費						11,585		11,585
減価償却費						122,224		122,224
消耗什器備品費						0		0
消耗品費						4,960		4,960
修繕費						0		0
電力費						146,006		146,006
光熱水料費						9,116		9,116
賃借料						97,758		97,758
保険料						3,954		3,954
諸謝金						287,967		287,967
租税公課						139,653		139,653
負担金						7,325		7,325
渉外費						9,485		9,485
委託費						54,621		54,621
雑費						5,591		5,591
経常費用計	14,907,384	13,121,731	4,989,113	33,018,228	29,385,972	2,631,639	0	65,035,839
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 14,907,384	△ 12,124,731	△ 4,913,689	△ 31,945,804	41,289,848	△ 2,408,938	0	6,935,106
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産供花損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,907,384	△ 12,124,731	△ 4,913,689	△ 31,945,804	41,289,848	△ 2,408,938	0	6,935,106
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 雑益	0	0	536,693	536,693	0	41,707	0	578,400
雑益	0	0	536,693	536,693	0	41,707		578,400
経常外収益計	0	0	536,693	536,693	0	41,707	0	578,400
(2) 経常外費用								
① 経常外費用その他	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用その他	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	536,693	536,693	0	41,707	0	578,400
他会計振替額	14,907,384	11,578,927	4,913,689	31,400,000	△ 33,900,000	2,500,000	0	0
当期税引前一般正味財産増減額	0	0	△ 9,111	△ 9,111	7,389,848	132,769	0	7,513,506
法人税、住民税及び事業税				0	2,313,000	0		2,313,000
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 9,111	△ 9,111	5,076,848	132,769	0	5,200,506
一般正味財産期首残高	0	0	75,274,511	75,274,511	311,210,468	104,079,404	0	490,564,383
一般正味財産期末残高	0	0	75,265,400	75,265,400	316,287,316	104,212,173	0	495,764,889
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
III 正味財産期末残高	0	0	75,265,400	75,265,400	316,287,316	104,232,173	0	495,784,889